

◎評価シート（平成30年度）

記入日 平成31年3月8日

平成30年度実施した協働事業について、提案団体と事業担当課において、下記の内容により互いに評価を行うことで、意思の疎通を図り、今後の事業実施等に活かすため、ご活用ください。

団体名 (記入者名)	男里川水系環境保全活動実行委員会 (辻山 正甫)	事業担当課名 (記入者名)	土木管理室 (廣谷 敏幸)
事業名	男里川水系一斉清掃行動		
事業開始年度	平成25年度～(男里川水系環境保全活動実行委員会の設立)		
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門		

1. 事業概要

(1) 事業目的・目標

男里川水系(山・川・海)を阪南市の地域の宝として、未来の子どもたちに良好な環境で引き継ぐことを目的として、地域の皆さんに環境の素晴らしさを認識し、環境保全活動の重要性を理解し、広く推進する運動(活動)を定着させることを目指します。

(2) 事業費の負担額

団体	0	円
市	0	円
合計	0	円

(3) 実施した内容

定例清掃活動
男里川水系一斉清掃
カレンダー作成

2. 事業の評価

※評価点(3段階)

3	2	1
できた	概ねできた	できなかった

(1) 協働性

評価項目	評価点(3段階)		
相互に理解し合い、対等な関係が築けたか。	3	2	1
事業全般を通じて十分に協議を行い、行政と十分な意思の疎通が図れたか。	3	2	1
責任の所在や役割分担は、適切であったか。	3	2	1
相互に相手の強みを事業に活かすことができたか。	3	2	1

それぞれ単独で実施するより、より効果を生み出すことができたか。	3	2	1
---------------------------------	---	---	---

(2) 実現性・有効性

評価項目	評価点 (3段階)		
協働の形態（委託・共催・事業協力等）は適当であったか。	3	2	1
事業を実施するのに、十分な実施体制をとっていたか。	3	2	1
関係する多様な人たちを巻き込めたか。	3	2	1
予算は妥当だったか。	3	2	1
参加者、受益者は意図した人たちだったか。	3	2	1
参加者、受益者の満足度は得られたか。	3	2	1
予定した成果は上がったか。	3	2	1
地域のまちづくりやコミュニティ形成に役立ったか。他の地域のモデルとなり、普及したか。	3	2	1

(3) 実施してよかった点・どのような点にメリットを感じたかなど

団体にとって	予算が無い中、カレンダー作成を実施したこと
市にとって	今年度、多数台風の接近があったが、男里川の清掃により多くの粗大ごみの回収ができた
市民にとって	男里川清掃の自治会参加により、環境保全活動の重要性を理解できた

(4) その他、評価点の理由や課題・その改善点など

<p>・8月に実施している河川の清掃について、近年の温暖化により気温が高い日が多く、今年度についても高温注意報が発令され、中止せざるを得ない状況であった。実施時期について検討が必要。</p>

(5) 今後の具体的な展開

- 今後も双方で実施 (提案事業継続 提案事業以外) 休止または終了
 市が単独で実施 団体が単独で実施
 その他 ()

※実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など補足事項を記入してください。

カレンダー等の販売も含めた、予算確保の検討が必要